

平家カブラのマーケティング方法の提案

情報マネジメント学科 倉島研究室 4HS1-9 井上 綾子

1.目的

白山市にある平家カブらを再生させ、地域の新たな地域ブランドにするためには、どのようなマーケティングが効果的なのかを考える。

2.平家カブラとは

平家カブラとは、平家落人の里として知られる兵庫県香美町香住区余部の御崎地区にだけ自生しているといわれている。

アブラナ科の一種で菜の花に似ているが、根や茎が一回り大きく、葉にうぶ毛のようなトゲがあるのが特徴。



この画像は福井の高知赤かぶらのものです。
高知かぶは、平家の落人がもたらしたといわれています。

出展

<http://www.tajima.or.jp/modules/pukiwiki/?%CA%BF%B2%C8%A5%AB%A5%D6%A5%E9>

<http://nipponisyokuiku.net/syokuzai/data/048.html>

3.現在の状況と今後の予定

白山市としても試験的に作り始めたところであり、生産の方法が確定しておらず、将来的に漬物等に加工して販売ということとなっている。

そのため、ほかの野菜はどのようなマーケティングを行っているか、ほかの地域の特産物は、どのようにしてブランドを築き上げてきたかを調べ、平家カブラの、マーケティングに何が必要か考える。